

大桑城跡の調査成果

山県市には、今から約480年前の戦国時代に、美濃国守護土岐氏によって築かれた山城「大桑城跡」があります。市ではこの大桑城跡の魅力を市内外に広くPRし、貴重な歴史遺産を次世代に継承するため、今年度から国史跡指定を目指した調査を開始しています。

ここでは、本年度の調査成果を紹介します。

生涯学習課文化財調査室
Tel 32-9008



古城山から見た景色

1 戦国時代の石垣を 約40カ所で発見

大桑城跡の石垣は、今まで約10カ所で確認されていましたが、今回の調査で新たに約30カ所を発見し、合わせて約40カ所となりました。

これにより、土の城が主流であった時代に、土岐氏は新しい石垣の技術を取り入れ、守護の拠点としてふさわしい城づくりを行っていたと考えられます。



大桑城の石垣

2 赤色立体地図・ 立体模型の完成



記者発表の様子

航空レーザ計測を行い、赤色立体地図と模型を作成しました。

これにより、大桑城跡の地形や、堅堀などの痕跡を明瞭かつ立体的に把握できるようになりました。また、これまで把握していなかった人工的な地形を確認することができました。今後はこれらを活用し、大桑城の構造や城域などを検討し、全体像の解明を進めていきます。

調査担当者に話を聞きました。

大桑城跡を調査して感じたことは

大河ドラマでは、斉藤道三のあやつり人形のように弱い守護として描写された土岐氏ですが、実際の大桑城を見ると、古城山の地形を巧みに利用し、防御施設や居住空間を整備していました。土の城が主流だった時代に、各所に石垣を用いるなど、守護の拠点にふさわしい城づくりを行っていたと考えられます。また、土岐氏は山頂の城だけでなく、山麓の城下町も整備したことから、この地で再出発するぞという強い意志が感じられます。

伝「岩門」では巨石を用いた石垣も確認されました

2mを超えるかなり大きな石は、伝「岩門」が大規模な土木工事により整備されたことを物語っています。



生涯学習課文化財調査室 室長 高木

3 伝「岩門」の構造説明

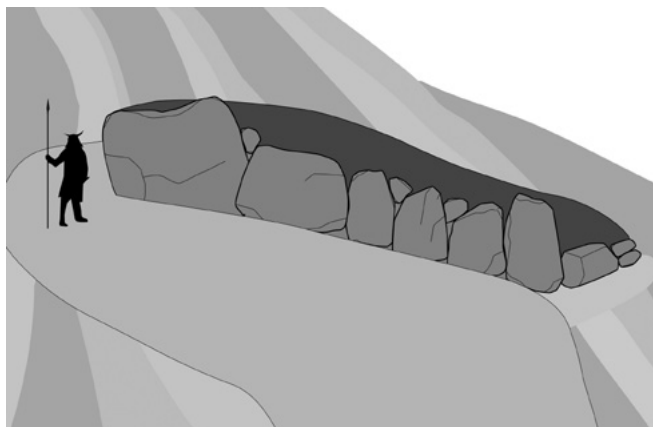
大桑城跡では初めてとなる発掘調査を「岩門」と呼ばれる場所で行いました。

今回の調査で大桑城の出入り口に
あたる岩門では、巨石石垣や立石列、
石垣により、城門が形成されていた
ことが分かりました。また、出土遺
物により、この城門が土岐氏が居城
した時代（16世紀前半）に絞り込むこ
とができました。

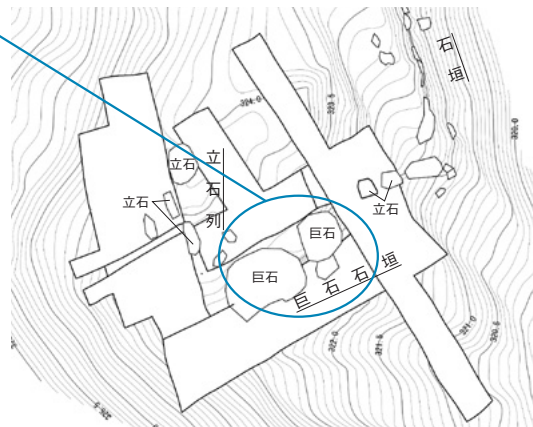
土岐氏は、巨大な石を城門に使用
することで、城を訪れた人にその権
威を見せつけようとしたのかもしれ
ません。



発掘調査の様子

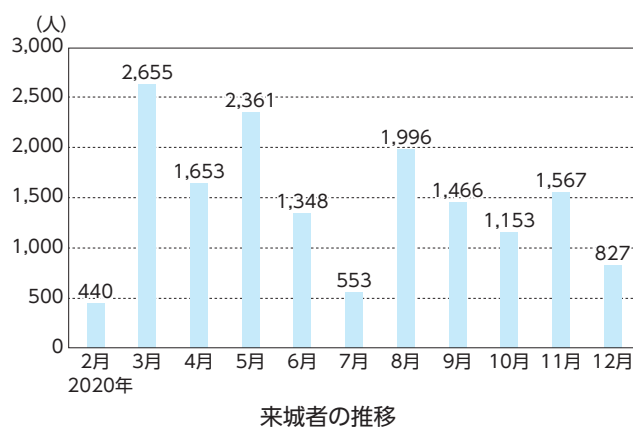


巨石石垣のイメージ図



伝「岩門」の調査平面図

番外
増加 大桑城跡来城者数の



来城者の推移

昨年までは、年間で推定千人ほど
しかなかった来城者が、大河ドラマ
や調査成果の情報発信により、大幅
に増加しました。
また、これまでのパンフレットに
加え、訪れた人が石垣などを楽しみ
ながら登山できるように、「大桑城跡
石垣登山マップ」を作成し設置しま
した。

伝「岩門」の巨石や石垣も見学でき
ますので、ぜひ大桑城跡に訪れてみ
てください。

これにより土岐氏は、城を訪れた人
に自らの権威を見せつけようとした
のではないのでしょうか。

今後の調査について教えてください
別の場所での発掘調査や絵図・伝
承などについても調査を行っていく
予定です。その調査成果をまとめて、
令和6年度には国の史跡指定を目指
していきます。

国の史跡に指定される意味は

大桑城跡は山県市にとって貴重な
歴史遺産であることは言うまでもあ
りませんが、日本の戦国時代を考え
る上で、また日本の城郭研究におい
ても重要であると考えています。

この大桑城跡を、国の文化財とし
て次の世代に確実につないでいくた
めに、国のバックアップが得られる
史跡指定が必要だと思っています。

最後に一言

これから調査を進め、大桑城跡
の魅力を多くの人に知ってもらいた
いです。山城だけでなく四季の自然
や絶景も楽しむことができますの
で、暖かくなったらぜひ訪れてみて
ください。